

緑を **考える** **造る** **活かす**

# 考える

屋内・屋外・自然環境・イベント事業  
CAD・パースによる見える設計提案  
助成金等補助金をフル活用して環境デザイン

# 活かす

ビオトープ等をつかった総合学習  
CSR・イベント事業  
屋上緑化をつかった園芸療法  
ホテルの里復元事業からはじまる自然環境学習と生態型復元

# 造る

ホテルの里づくり／ビオトープづくり  
屋上緑化壁面緑化／園庭芝生化  
神社・墓石・メモリアル事業  
ユニバーサルデザインによる施設ガーデニング工事

大型公共工事、造園維持工事、指定管理者など多様な業態に対応

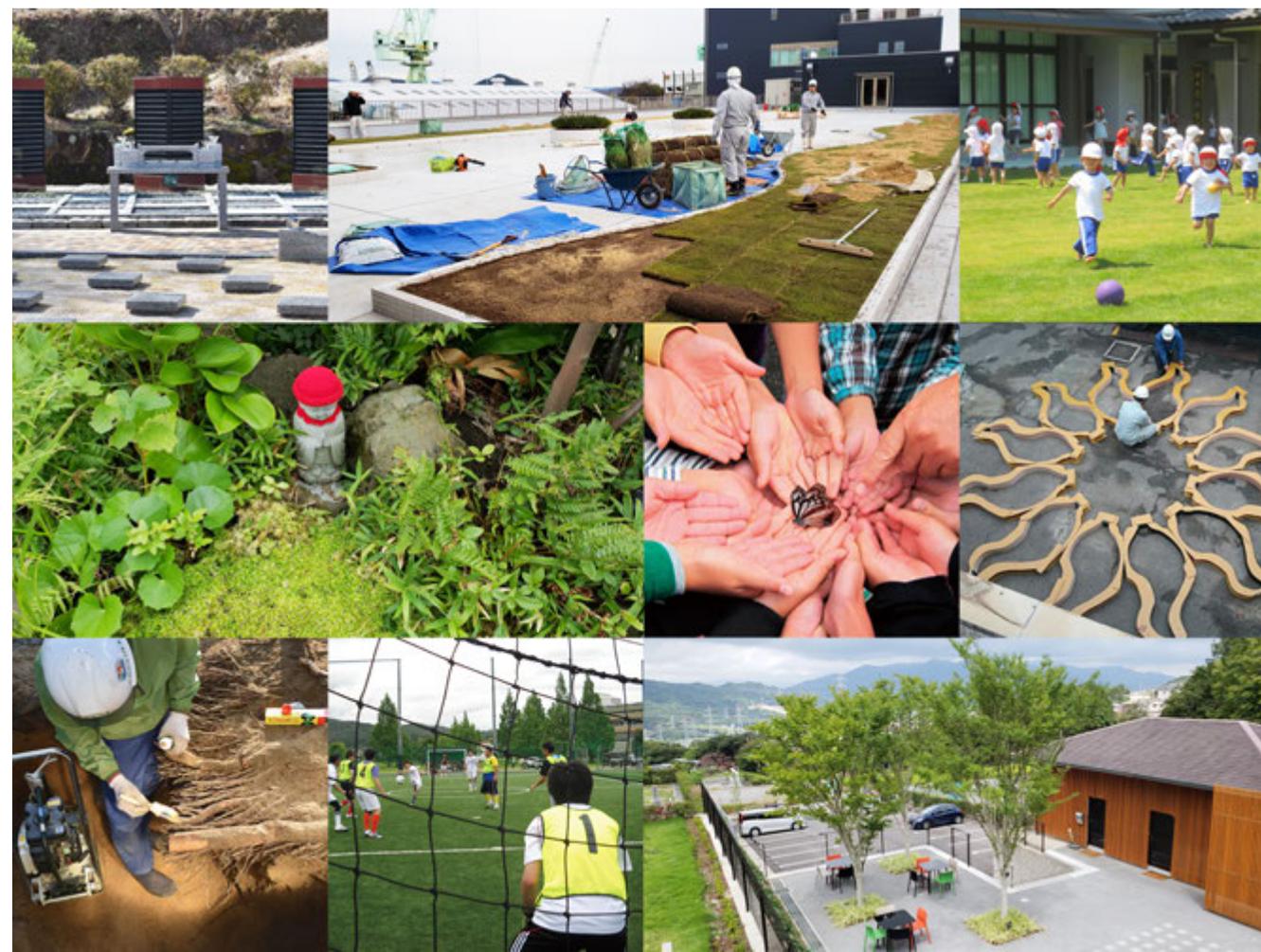
# 会社案内 2022

人と環境とコミュニティをつなぐ『緑』の力を大切にします。

自然と人が調和する環境づくり



おかげさまで 今年127周年を迎えます




**山本信男**  
呉本店長 兼 営業部長 / 1984年入社

**自分にしかできないことを作る**

仕事で経験できることも大事ですが、それ以外のことにも積極的に参加して欲しいのです。そこで得た情報や経験を噛み砕き理解していく道すがら、自分自身の趣向を知ることができるようになります。自分自身の色はそこから決まりだします。ただ単にお客様の要望に応えるようなプランを提示するだけではお互いに面白くありません。お客様を、あっ！と驚かせる独自のアイデアを、仕事以外の場所から得て、自分自身の色で変化させ提示し続けることで仕事が決まります。弊社の仕事は多岐にわたり「自分にしかできないこと」を追求するにはうってつけの環境です。「緑」を通して学び、自分の色を出しながら会社と共に成長していきましょう。

カジオカL.Aは、おかげさまで2022年で127周年を迎えます。  
 多くの方々に支えられ、時代の変化に対応しながら今に至っています。  
 これからも末永く事業を継続できることを念頭に、社員の幸せを大切に経営を行い、  
 緑豊かで緑の機能を最大限に発揮できる街づくりを目指し、そこに集うコミュニティが  
 健康で持続可能な社会を作りだせる仕組みを提案し続けています。

## Characteristic of the company

### 弊社の特色



## Purpose Management

パーパスマネージメント  
 (幸福度向上にむけて)

パーパス=存在意義

*Purpose*

「この仕事は自分の価値観に沿った意義のある仕事だな (Purpose)」

オーセンシティ=自分らしさ

*Authenticity*

「自分の強みを活かして工夫してみよう (Authenticity)」

リレーションシップ=関係性

*Relationship*

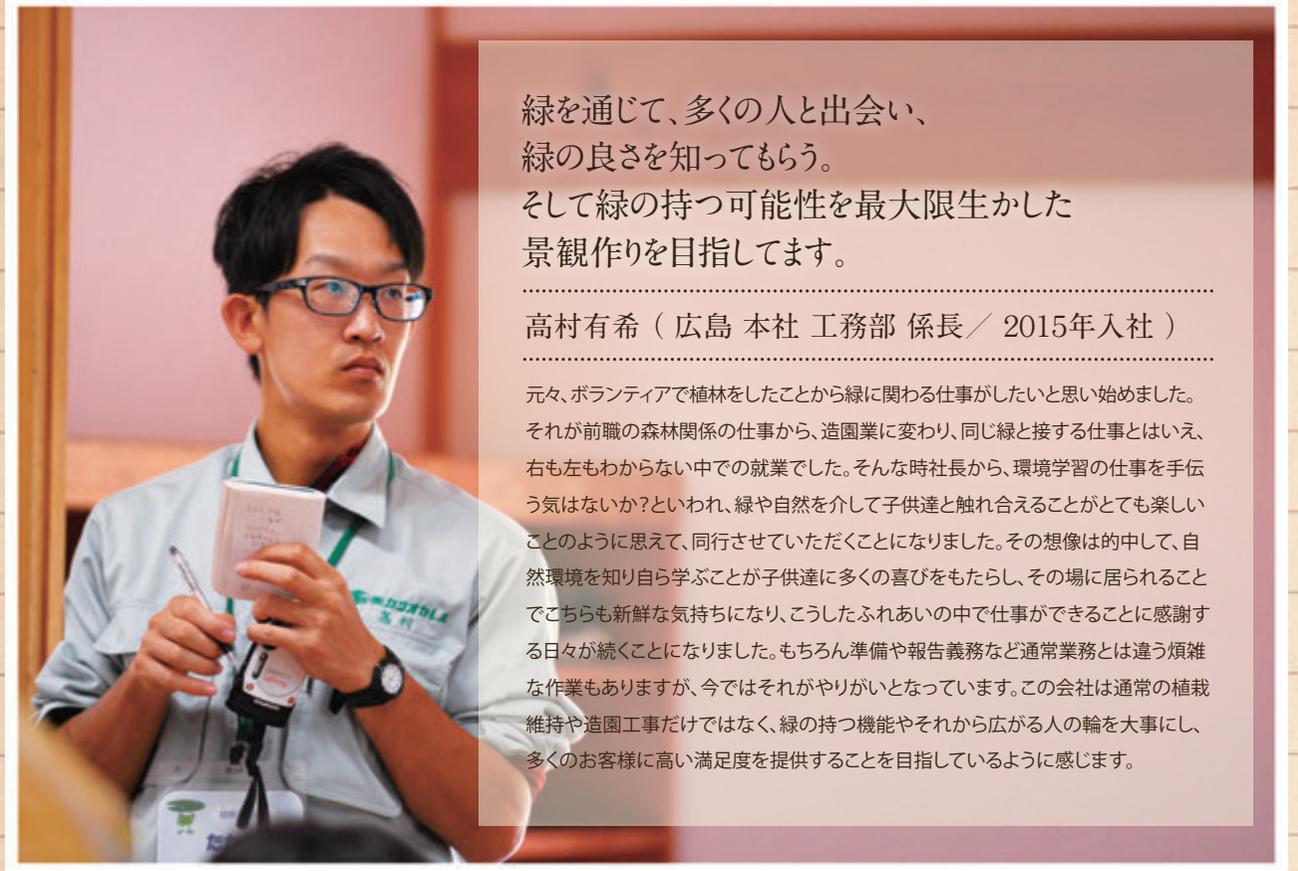
「自分はこのチームで大切にされているな (Relationship)」

ウェルネス=心身の健康

*Wellness*

「趣味や運動の時間を定期的に確保して友人や家族との関係を保てる (Wellness)」

弊社は造園工事業の枠をこえて社会的に価値ある仕事を創注してきました。そうした弊社の社会的な存在意義 (Purpose) を、次世代を担う方々と共有していく事が大事だと考えます。その上で、社員の強みを引き出し存在感を示す事ができるように環境を整え、良いチームを作れるように日々邁進しています。社員が組織の中で『多くの幸せ』を見出すことが業績向上への近道だと考えます。



緑を通じて、多くの人と出会い、  
 緑の良さを知ってもらおう。  
 そして緑の持つ可能性を最大限生かした  
 景観作りを目指しています。

高村有希 (広島 本社 工務部 係長 / 2015年入社)

元々、ボランティアで植林をしたことから緑に関わる仕事がしたいと思い始めました。それが前職の森林関係の仕事から、造園業に変わり、同じ緑と接する仕事とはいえ、右も左もわからない中での就業でした。そんな時社長から、環境学習の仕事を手伝う気はないか?といわれ、緑や自然を介して子供達と触れ合えることがとても楽しいことのように思えて、同行させていただくことになりました。その想像は的中して、自然環境を知り自ら学ぶことが子供達に多くの喜びをもたらし、その場に居られることでこちらも新鮮な気持ちになり、こうしたふれあいの中で仕事ができることに感謝する日々が続くことになりました。もちろん準備や報告義務など通常業務とは違う煩雑な作業もありますが、今ではそれがやりがいとなっています。この会社は通常の植栽維持や造園工事だけでなく、緑の持つ機能やそれから広がる人の輪を大事にし、多くのお客様に高い満足度を提供することを目指しているように感じます。

## One Day Report



1 出社後、本日の業務内容を確認し、使用する機材の準備をします。これは「ブローワー」と言い、風で剪定枝や落葉を集める機械です。



2 使用する資材・機材等をトラックに積み込みます。積み込む際には荷崩れ等に注意して使用する資材・機材の順番を考えて整理しておきます。



3 現場へ出発します。当然の事ですがゆとりを持った運転を心がけ事故のないように安全運転で現場へ向かいます。



4 施主へ挨拶・作業内容説明後、作業開始です。現場の状況を確認し問題があるようなら施主と打合せ。もし自身で判断できない場合は上司に相談します。お客様が納得できる施工を日々心がけています。



5 作業終了後、帰社して当日の作業を日誌にまとめます。原価管理集計等もおこないます。造園技術の向上も大事ですが、お金の管理もしっかり出来て一人前だということを日々感じます。



6 次の現場の仕様書・図面について上司から解説を受けます。弊社の強みである提案資料を作る際はみんなで意見を言います。経験のある上司の話はとても勉強になります。